

製品名: p39 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15624**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	CDK5R2
別名	CDK5R2; NCK5A1; Cyclin-dependent kinase 5 activator 2; CDK5 activator 2; Cyclin-dependent kinase 5 regulatory subunit 2; p39; p39l
遺伝子 ID	8941.0
SwissProt ID	Q13319
免疫原	抗血清はヒト CDK5R2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

背景

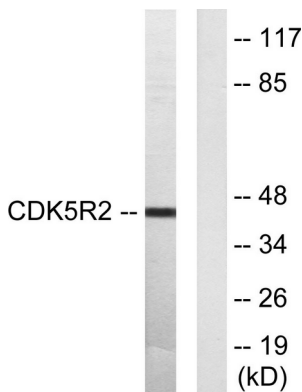
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ニューロン特異的な CDK5 キナーゼ活性化因子です。CDK5 と会合して活性キナー

を形成します。このタンパク質とニューロン特異的 CDK5 活性化因子 CDK5R1/p39NCK5A は、サイクリンと限定的な類似性を有しており、サイクリン依存性キナーゼ活性化タンパク質の独自のファミリーを定義する可能性があります。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: CDK5/TPKII の活性化因子。 ,類似性: サイクリン依存性キナーゼ 5 活性化因子ファミリーに属する。 ,サブユニット: 触媒サブユニットと調節サブユニットのヘテロ二量体。 ,組織特異性: 脳およびニューロン特異的。 ,

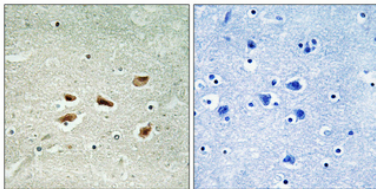
研究分野

シグナル伝達; 代謝; 細胞膜; ATPase

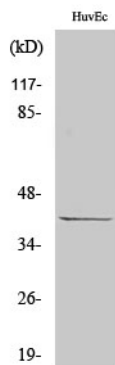
画像データ



CDK5R2 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 に希釈し (4°Cで一晩)、抗原賦活化には高温高压トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。



p39 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウェスタン ブロット分析。